



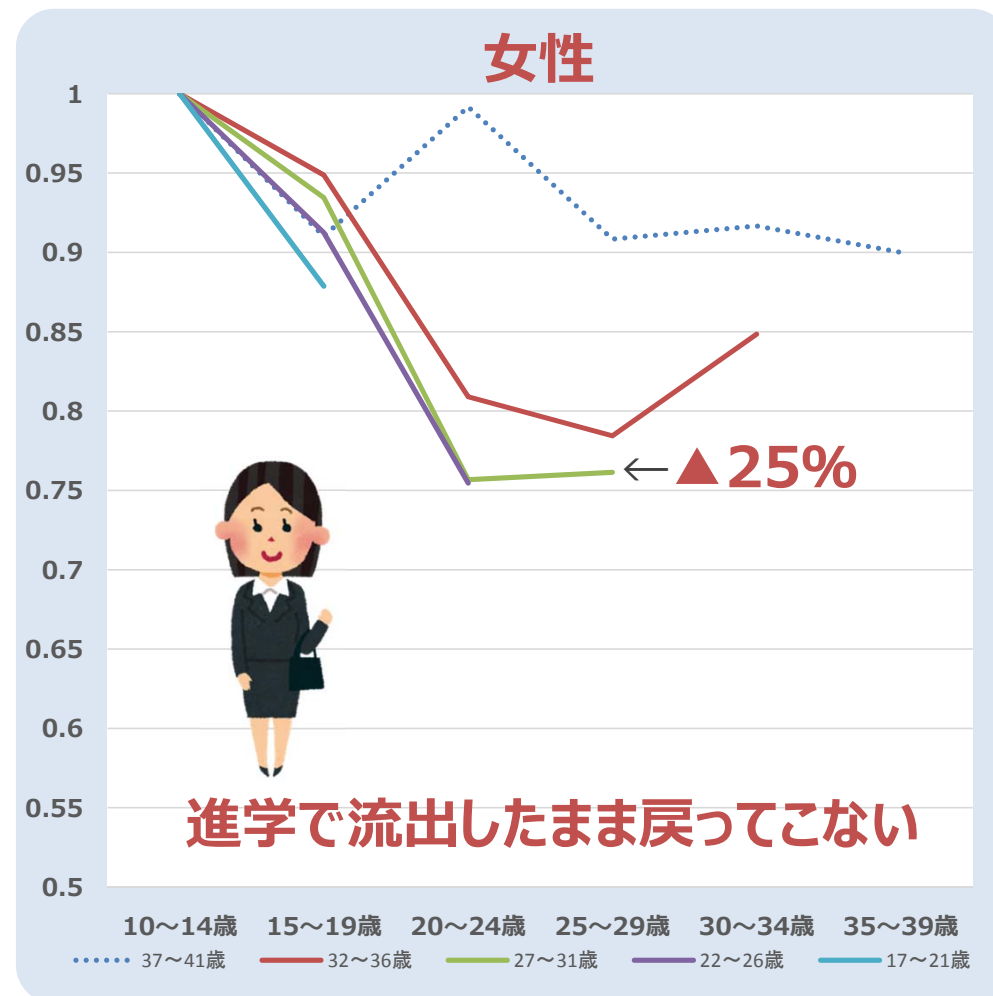
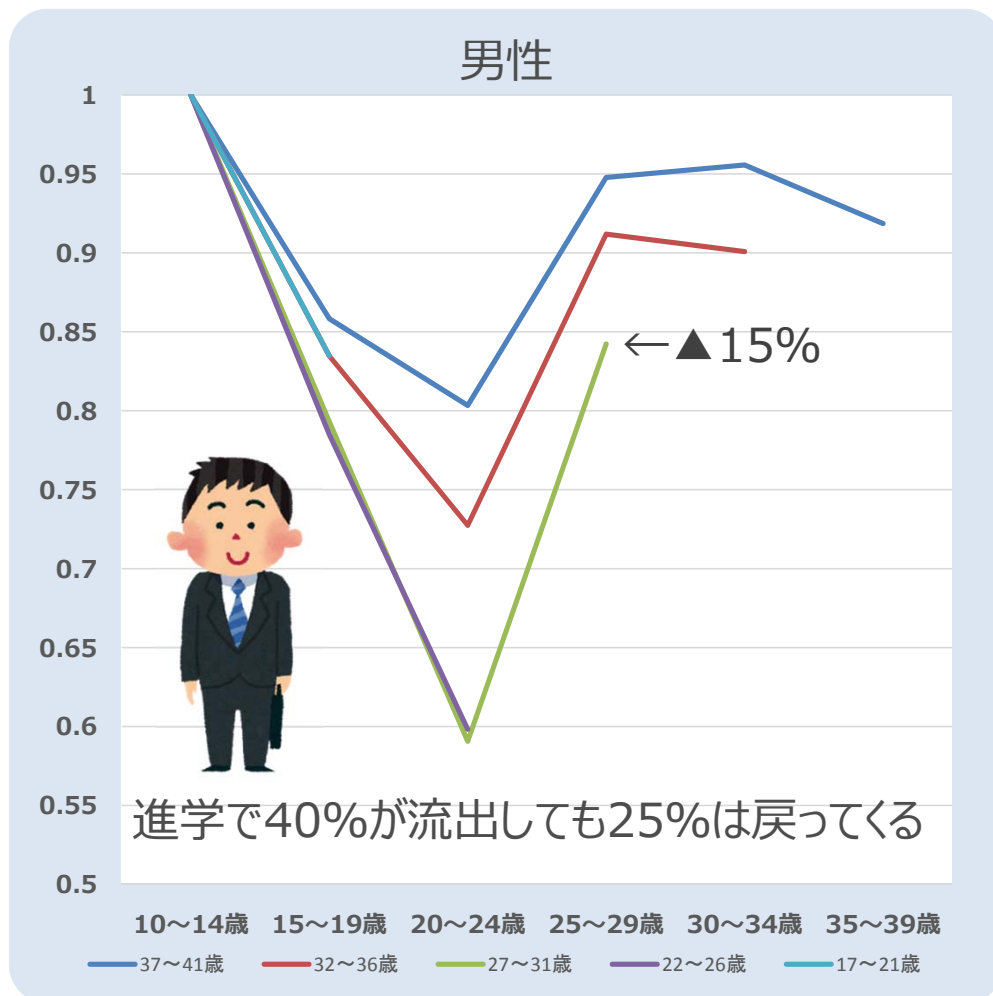
こまがね
駒ヶ根市のふるさとテレワーク



駒ヶ根市 産業部 商工振興課 工業係

長野県駒ヶ根市赤須町20-1 電話 0265-83-2111 メール syoukan@city.komagane.nagano.jp

着目した課題① ～進学で流出した女性の25%が戻らない～



10~14歳時点の人口を1とした場合の2017年時点の年齢層別人口の増減 (出典: 長野県毎月人口異動調査 駒ヶ根市)

着目した課題① ～進学で流出した女性の25%が戻らない～

	求人数a	求職者数b	a-b
事務的職業	513	1,123	▲610
運搬・清掃等の職業	317	740	▲423
生産工程の職業	1,635	1,596	39
保安の職業	150	25	125
輸送・機械運転の職業	394	178	216
建設・採掘の職業	379	89	290
販売の職業	705	414	291
サービスの職業	805	357	448
専門・技術的職業	1,289	604	685



【原因】
 製造業の仕事
 (生産現場の
 労働者雇用)が中心で
 事務的職業など
希望の仕事が少ない

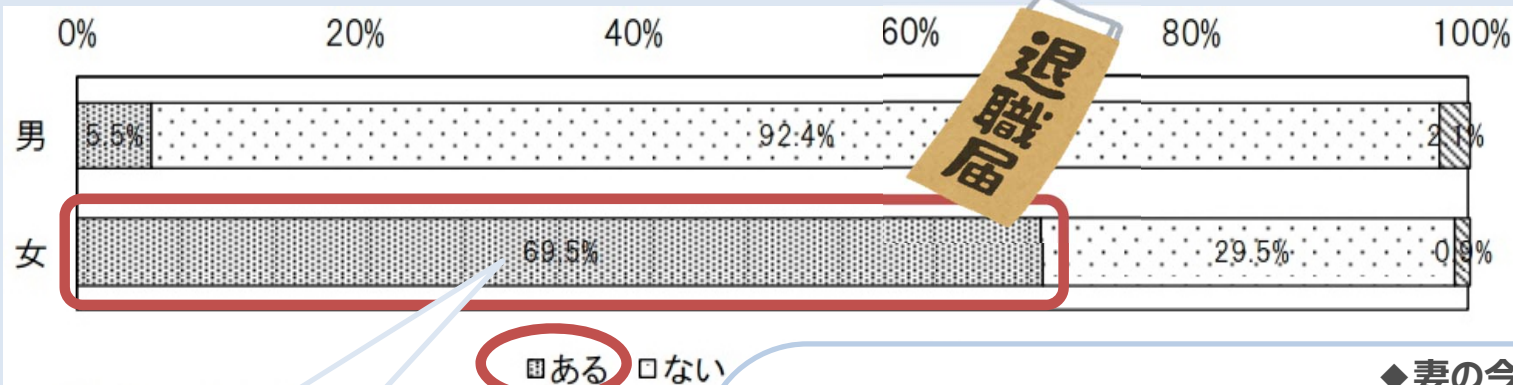


雇用形態「常用」の平成28年9月～11月の合計数（出典：ハローワーク伊那 求人・求職バランスシート）

着目した課題② ～出産等を機に女性の70%が仕事を辞めざるを得ない～

■結婚や出産を機に仕事を辞めたことがあるか？

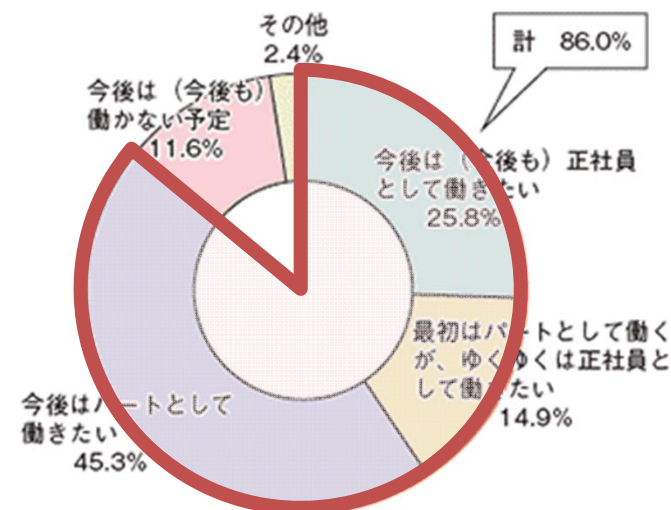
(出典：駒ヶ根市 少子化に関する市民意識調査 2015年1月)



辞めた理由は
「出産のため」が 59.9%
「結婚のため」が 37.5%

結婚・出産しても
何らかの形で働きたいのに
**70%の女性が
仕事を辞めざるを得ない**

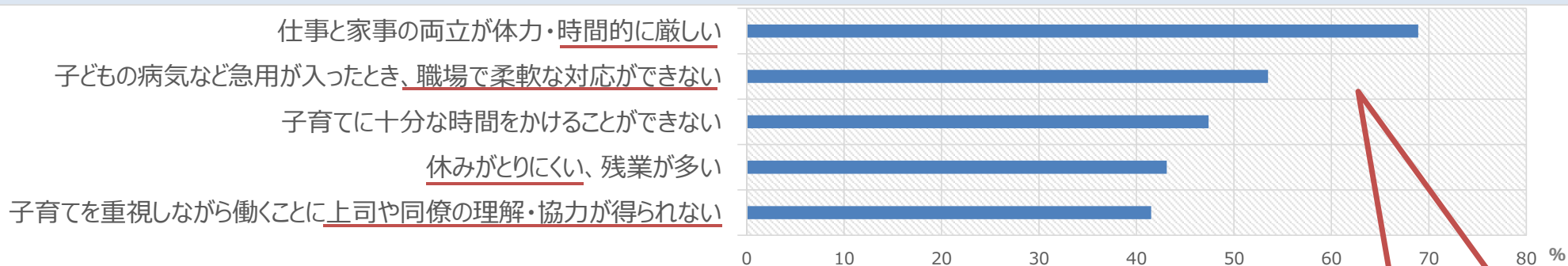
◆妻の今後の就労意向



(出典：内閣府「都市と地方における子育て環境に関する調査報告書」2011年)

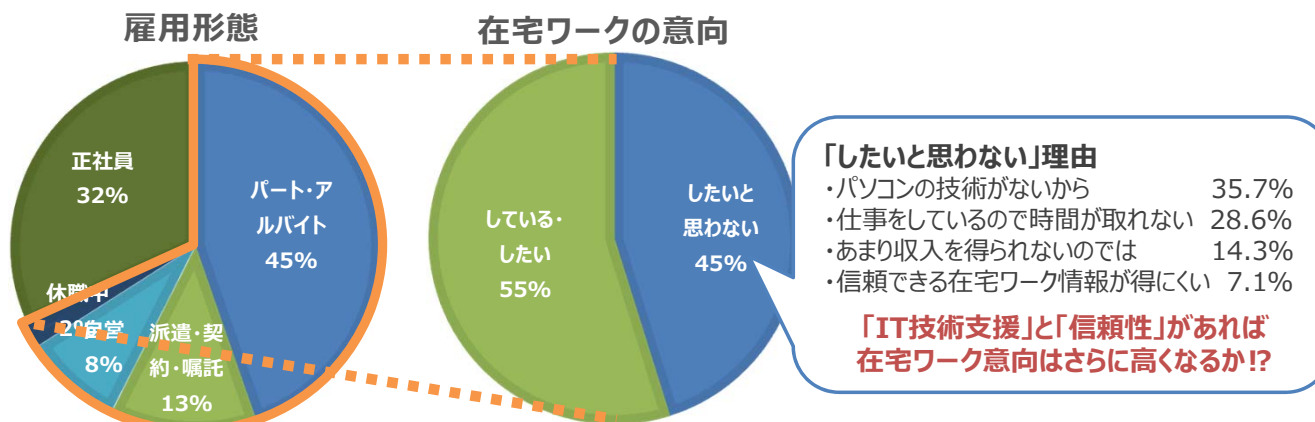
着目した課題② ～出産等を機に女性の70%が仕事を辞めざるを得ない～

■女性が子育てをしながら働く上で問題となっていることは？



(出典：駒ヶ根市 少子化に関する市民意識調査 2015年1月)

<参考>在宅ワーク実施に向けた状況と意向 (末子が小1～3の母親200人にアンケート調査)



(出典：駒ヶ根市「テレワーク実行可能性調査」2016年)

【原因】
時間的に
職場や家庭環境的に
仕事と育児の
両立が難しい



課題解決に向けて

課題①

働く場の選択肢が限られている

～進学で流出した女性の25%が戻らない～

希望する事務系の求人が少ないため
「進学時の流出＞就職時の流入」となる

解決策

事務系の仕事を誘致



課題②

時間的制約で就労できない

～出産等を機に女性の70%が仕事を辞めざるを得ない～

子育て等で就労時間に制約がある人が
働ける仕事・環境が少ないため
出産等を機に女性の多くが仕事を辞める

解決策

時間や場所にとらわれない 仕事・ワークスタイルを導入

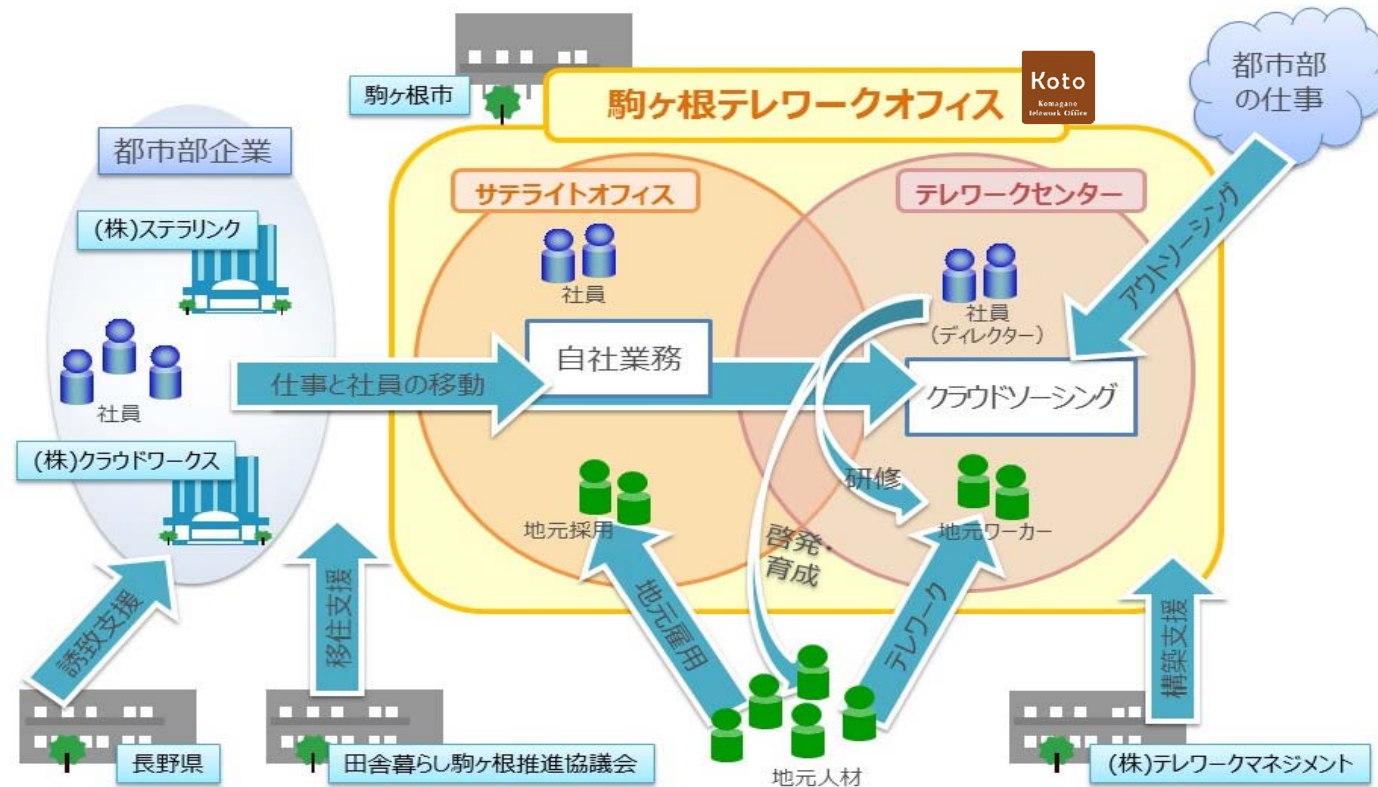


テレワーク推進事業 (2016年度)

① サテライトオフィスとテレワークセンターの機能を持つ「駒ヶ根テレワークオフィス」の整備

- ・サテライトオフィス…都市部に本社がある誘致企業の社員が駒ヶ根市で遠隔業務ができるように通信設備や事務機器を整えたオフィス
- ・テレワークセンター…都市部の企業がテレワークで行える都市部等の仕事（例：データ入力、ウェブサイト構築など）を市民に発注・管理する業務を行い、市民ワーカーが集中してこれらの仕事を行うための通信設備や事務機器を整えたセンター

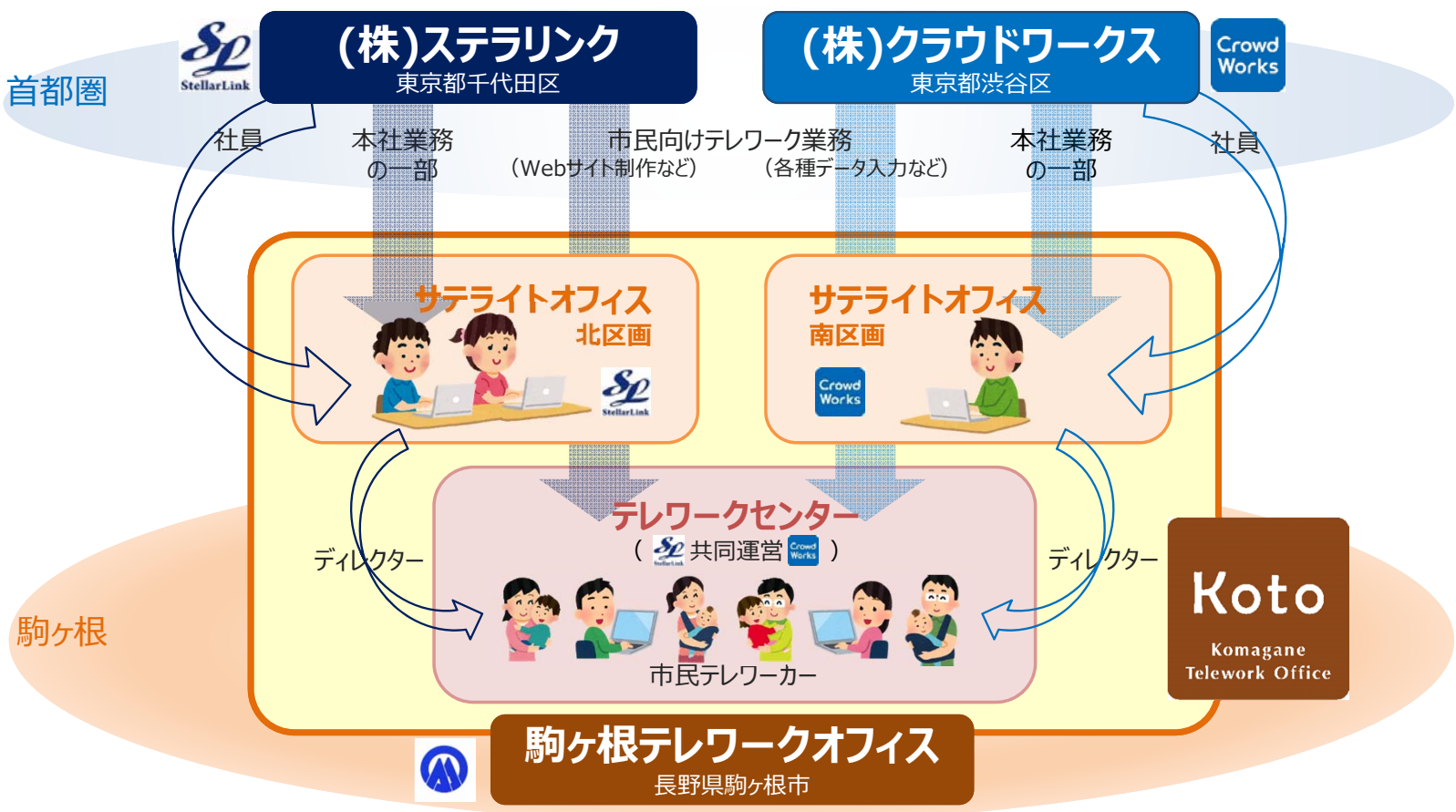
② テレワークという新しいワークスタイルの導入のための研修



テレワーク推進事業 ～①駒ヶ根テレワークオフィスの整備～



駒ヶ根市は2017年3月1日、駒ヶ根駅前に「駒ヶ根テレワークオフィス」(愛称: Koto) を開設
 KotoにはIT企業2社が進出し、一部の社員を移住させて、テレワークで本社業務を実施
 さらに、進出2社は市民向けにテレワーク業務を提供。このワーカー向けワークスペースも完備

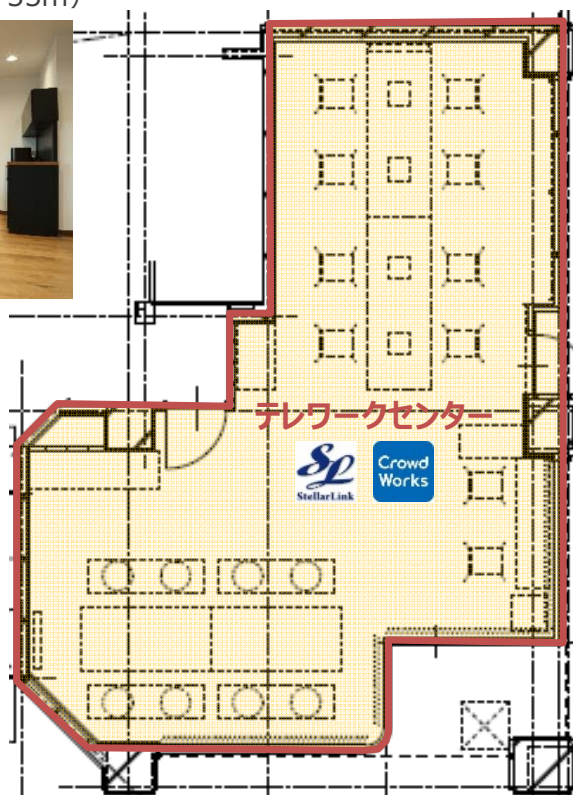


テレワーク推進事業 ～①駒ヶ根テレワークオフィスの整備～

- 名称 **駒ヶ根 テレワーク オフィス** (愛称 **コト**)
- 所在地 長野県駒ヶ根市中央3-1松岡ビル1・2階 (JR駒ヶ根駅前)
- 設備備品 机 椅子 棚 PC モニター ディスプレイ プリンター 無線LAN、TV会議用機器 等



テレワークセンター (1階・55㎡)



サテライトオフィス (2階・南28㎡ 北42㎡)



テレワーク推進事業 ～②新しいワークスタイルの研修～

➤ 市民テレワーカーの育成

- テレワーカー発掘/啓発セミナー
- 高度な仕事へ展開していくための研修

※2ヶ月に1回のペースで開催し、200人以上のワーカーを育成
※2018年からは対象を駒ヶ根市の周辺町村にまで拡大



➤ 地域産学との連携

- ITやアウトソーシングによる地域産業の活性化
- (予定)地域の教育機関と連携したIT高度人材の育成





➤ テレワークオフィスの拡張

- 誘致企業の地元雇用創出に向けた支援
- (継続) 20～30代の地域内の仕事の選択肢を拡大するための仕事の誘致



市民向けテレワーク業務の成果 (現況)

	(株)ステラリンク 	(株)クラウドワークス 
働き場の創出	市民3人をパート社員として採用 ※全員女性	市民100人以上がワーカーとして稼働 ※大半が女性
市民ワーカーの業務	・ウェブサイト構築 ・アプリ開発 など	・ウェブ記事作成/校正 ・各種データ入力 ・BPO業務 など
2017年度の展開	本社の開発系業務を段階的に移管	ワーカー増員に向けた研修会の実施

2018年1月末現在



駒ヶ根テレワークオフィスは、事業実績が評価され2018年2月に(一社)日本テレワーク協会から「第18回テレワーク推進賞 奨励賞」を受賞しました



駒ヶ根市等でのテレワークの取組みが評価され、(株)ステラリンクは、2017年11月に総務省が主催する「テレワーク先駆者百選」に選定されました

市民ワーカーさんの声

「テレワークやってみてどうですか？」

- 空き時間を使うだけなので今までの生活スタイルを変えずに働けます。
- 日々締め切りに追われるということもなく、自分の予定で働きやすいです。
- 小さい子がいるので、行事や病気のとときに気軽に休めるのがいいです。
- 相手の顔が見えないインターネットに不安もあったけど、市がサポートしているという安心感があります。
- 家事や内職だと家にこもってしまうけど、仕事を通して、外で人と交流できるのが楽しいです。





当市で事業展開されたい企業様を全力でお手伝いさせていただきます。
お気軽にお問い合わせください。



駒ヶ根市
商工振興課 工業係

〒399-4192 長野県駒ヶ根市赤須町20番1号
【電話】0265-83-2111 【FAX】0265-83-1278
【メール】syoukan@city.komagane.nagano.jp
【ウェブサイト】<http://www.city.komagane.nagano.jp/>



駒ヶ根テレワークオフィス

【ウェブサイト】<https://koto-komagane.com/>
【フェイスブック】<https://www.facebook.com/koto.komagane/>